

政策調整会議の概要

開催日 令和7年11月6日(木)

◎項目

- 1) 令和7年度上半期(3月～8月)長期病休者の状況報告
- 2) 令和7年度[高知県版]南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測の概要について
- 3) 高知龍馬マラソン2026業務に係る職員動員のお願い

◎内容

1 令和7年度上半期(3月～8月)長期病休者の状況報告【総務部】

○職員健康推進監

メンタル不調による休業者について、メンタルケアの取り組みとして、メンタル不調の未然防止や早期発見等が、病気休暇を長引かせないためにも重要。管理監督者は、メンタルヘルスケアのキーパーソンである。いち早く職員の変化に気づくために、日頃から積極的にコミュニケーションをとり、職員のいつもの様子を把握しておくことを心がけていただきたい。職員の変化に気づいた場合には、職員厚生課作成のリーフレット等を参考に対応をお願いしたい。気になることや相談があれば、職員厚生課スタッフによる健康相談等を実施しているので、活用していただきたい。

2 令和7年度[高知県版]南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測の概要について【危機管理部】

○南海トラフ地震対策課長

震度分布・津波浸水予測を公表する目的は、最大クラスの地震と津波から県民の皆様の命、生活を守るための事前の備えを推進するもの。

最大クラスの地震・津波は最新の科学的知見に基づき推計。地震の発生時期の予測はできないが、発生頻度は極めて低い。

震度分布の予測について、官民が保有する県内約1万本の地域調査結果を追加し、地盤をモデル化。その上で高知市周辺の軟弱な地盤の震度をより適切に算出するため、震度分布を解析する手法も見直した。その結果、最大震度の占める割合について、震度7の市町村が前回の26市町村から、33市町村に増加。県内の面積割合で見ると、震度7の面積割合が、前回の6.6%から11.7%に増加。

地震の継続時間について、震度3相当以上の地震の継続時間は、県内の東部地区で3分程度。

津波浸水予測の推定状況について、最新の地形データや標高データ等を反映し、より精密な推計を実施。その結果、市町村庁舎付近の最大浸水深は、前回から最大で50センチ深くなっているところや、津波の浸水予測時間が7分遅くなっているところもある。全体としては、大きな変化はなし。

津波浸水面積について、県全体で前回から約4%減少。大きく減少しているのは、高

知市で約7%減少。

津波の高さについて、土佐清水市で前回から10センチ上昇し、34.5メートルになった。全体としては、大きな変化はなし。

今後は、震度分布・津波の浸水予測を用い、人的被害や建物被害といった被害想定算出を行う。

3 高知龍馬マラソン 2026 業務に係る職員の動員のお願い【観光振興スポーツ部】

○スポーツツーリズム課長

12回目となる高知龍馬マラソン 2026 を令和8年2月15日に開催を予定。参加者の増加に向け、各種媒体を活用した情報のこまめな発信等、様々な取り組みを行った。その結果、11月6日の速報値で、全エントリー数が1万2,591人と、前回大会より843人増加。前回は期限内に定員に届かなかったため、受付を延長したが、今回は延長なし。

動員数について、ボランティアの募集の取り組みも強化し、前回大会から31人減少させた379人を動員予定。知事部局で335人、教育委員会で44人の動員を予定しているので、協力をお願いします。

○副知事

10月30日に第1回働き方改革タスクフォースを実施した。その中で、次回までの取り組みとして、働き方改革に取り組む理由を部局長自身の言葉で部下に説明することとしている。働き方改革を職員に浸透させることが大事なので、副部長も部局長と一緒に取り組んでいただきたい。